

Active

我孫子市立湖北小学校

研推だより

2025.5.28 No.2

発行者 菅家

先生方、運動会お疲れ様でした!! 学級・学年、全校で行事を成功させるという経験を積んで、子どもたちも成長したことと思います。6月は、第1回の校内研究会があります。2,3年生の先生方、準備等よろしくお願ひします。

今回は、お茶飲み場の机に置いてあった雑誌をたまたま読んでいたら見つけた「算数授業」の資料を紹介します。 「自ら課題を見つけるための手立て」が紹介されていました。本校の研究テーマに繋がるのではないかと思います!! ぜひ、参考にいただけたら嬉しいです。

今回のテーマ:「算数の授業について」

最初の一歩! はてなるマークを黒板に貼ろう!

次の問題を見つけたら、

! ? マークを貼る!

問題場面を確認したら、

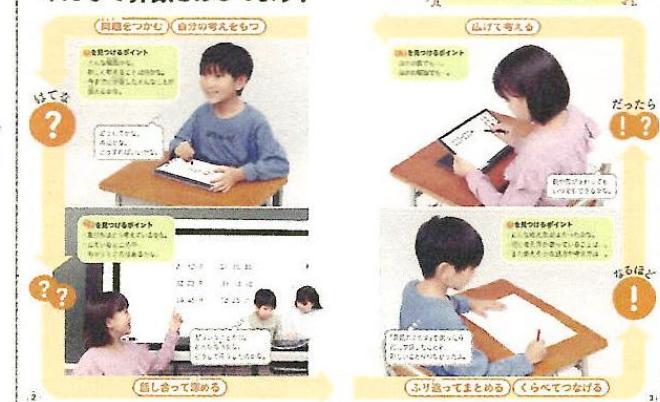
! ? マークを貼る!

今日新しく考えることは
何かな?

今日のはてなは
何かな?

算数の
場面から

みんなで算数をはじめよう!



別の数では?

別の形では?

別の場面では?

問題を解決したら、

! ? マークを貼る!

どうしたら
はてなを解決できたかな?

?

を引き出したい!

指導のポイント

新しく考えることを問う

3

28円のカステラと17円の
グミを1つずつ買います。
あわせて何円になるでしょうか。

困ったこと、前回までとの違い、解決できる範囲を明らかにし、
今日新しく考えることを問う。



何に困ったの?

$8+7=15$ に
なっちゃうから、15を
どうやって書けばいいか
わからない。



前回までと何が
違うの?

前回までは
一の位どうしをたしても
十位にならなかった。



どこまでならできるの?

$$\begin{array}{r} 32 \\ + 27 \\ \hline 59 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 43 \\ + 50 \\ \hline 93 \end{array}$$

一の位が
9までなら
できる!



28 位ごとに計算すると...
+17 8+7=15
あれ?

$$\begin{array}{r} 24 \\ + 15 \\ \hline 39 \end{array}$$

はてな
?

一の位の計算が10より大きくなるときは、
どうすればいいのかな。



かえで

実際にやってみると何が新しいか発見できる!



を引き出したい!

指導のポイント

問題を自分事として捉えさせる



子どもに気づかせたい
ふきだしは隠す！
出なかったときに提示し、
発言の意図を聞く。

全部しぼったらしい。

場面絵を使って
登場人物が困っていることを捉えさせ、
どうしたら解決できるか話し合い、
問い合わせを焦点化していく。

全部しぼらないとジュースの量の
見当をつけられないかな？

1つしぼって取れた量に
オレンジの数をかければ……。
オレンジによって
しぼれる量が
違うけど……。
いくつかしぼってみて
1つからしぼれる量の
見当をつければ……。

1 オレンジを5個しぼったら、それぞれ次の量の
ジュースがどれました。
オレンジ1個からとれるジュースの量は、何mLと
みればよいでしょうか。
① 80mL ② 100mL ③ 75mL ④ 80mL ⑤ 65mL

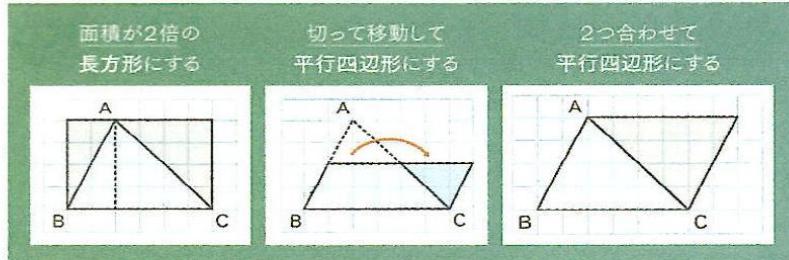
やっぱりしぼれる量が
ばらばらだね。
1個からしぼれる量は
何mLといえばいいのかな。
はてな
オレンジによって量にちがいがあるけど、
1個からとれるジュースの量は
どのように見当をつけたらいいのかな。
みんな



を引き出したい!

指導のポイント

見方・考え方の共通点を考えさせる



子どもが考えを説明した際に、
働きかけた見方・考え方を
板書に整理しておき、共通することを問う。

どの考えにも
共通することは何か？

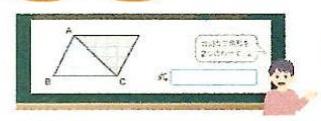
なるほど
！ 三角形の面積も、面積の求め方が
わかる形に変えれば求められるね。
みんな



を引き出したい!

指導のポイント

次に考えたいことを問う

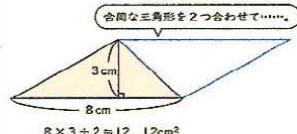


① 数や形を変えて振り返らせる。
ほかの三角形でもできるかな。

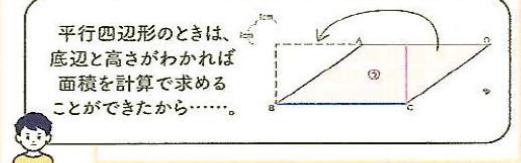
② 次時につなげる。
三角形も面積の公式をつくれるかな。

なるほど
！ 三角形の面積も、面積の求め方が
わかる形に変えれば求められるね。
つばさ

次に考えられそうな
ことは何かな？



$$8 \times 3 \div 2 = 12 \text{ cm}^2$$



平行四辺形のときは、
底辺と高さがわかれば
面積を計算で求める
ことができたから……。

子どもによって
段階は違っていい！

STEP 1

みんなで考える

STEP 2

友だちと相談して考える

STEP 3

自分で考える

子ども一人一人が自分で「はてな」を見つけ、協働的に解決した過程を振り返り「なるほど」をまとめ、次に考えたいことを見つける「だったら」と追究していく姿を目指しますが、いきなり全てを任せるのは難しいです。上記のように、一人一人の

子どもの実態にあわせて少しづつ任せていくようにし、自分たちで学びをつくるという経験を積み重ねることを大切にできると思います。

算数の学習を通して育てたい力は、「自ら課題を見つけ、友達と協働しながらよりよく解決し、解決したことから次の問い合わせていく」という力です。この資料にある「はてな」を見つける力を身に付けることから始めるべきかな・・・と私は思いました。6年生は今、「分数のかけ算・わり算」の学習をしています。分数÷整数の計算の際、「分子がわりきれないときはどうするの？」と一人の男子児童がつぶやき、次の展開に繋がっていきました。こういった疑問をたくさんの児童がもてるよう、学習内容を自分事として捉えられるよう工夫できたらと思います。